

当面の取り組み

(2022年1月23日 中央委員会にて決定)

2022年春闘方針に基づき、当面次のように取り組みます。

1. 当面の統一行動など

① 2月1日(火)～2月28日(月)を「22春闘要求討議促進月間」とし、職場から要求づくりを進めます。統一要求提出日を3月1日(火)、回答指定日を3月9日(水)に設定します。

② 統一行動日を次の通り設定します。単組内の取り組みだけでなく、地域や中央の行動への参加にも取り組みます。

◆第1次 3月1日(火)

金融労連統一要求日として、「金融労連統一要求書」を活用した要求提出ができるよう取り組みます。要求提出時には、可能な限り経営者に要求趣旨説明を行い、「回答指定日」の順守を求めます。また近隣の未加盟組合や地域の中小業者訪問などを計画します。

◆第2次 3月9日(水)～10日(木)

集中回答日を3月9日に設定して回答引き出しに取り組み、回答延期などの不誠実な対応については、翌10日の国民春闘共闘の山場の統一行動と結合して、決起集会などの開催に取り組みます。

◆第3次 4月15日(金)(予定)

金融共闘などが提起する金融中央行動に組み込み、業界・経営者団体、金融庁・厚労省など官庁との交渉を行います。各組合は中央行動成功のため、代表を送ります。翌日には、地方組織代表者会議を開催し、組織の拡大強化を中心に春闘前進のための討論・意思統一を図ります。

◆第4次 5月1日(日)

第93回メーデーに全国各地で積極的に参加します。

2. 組織・機関紙拡大運動、教育・宣伝活動

① 組織・機関紙拡大第2次運動月間 3月1日（火）～5月31日（火）

全労連の組織拡大運動と結合し、未組織・未加盟への宣伝・訪問活動などを各地域労連等とも共同して継続的に取り組みます。また、未加盟組合との懇談会などを積極的によびかけ開催します。パート・契約職員・管理職・関連会社の労働者など幅広い仲間の組織化を実現するための労働組合格約の見直しを進めます。

② 金融労連リーフ集中配布期間 3月1日（火）～4月15日（金）

本部作成の金融労連ビラを近隣の地域金融機関の仲間を対象に、独自ビラなども工夫して宣伝行動に取り組みます。また、入行（庫・組）式などで、新入行・職員へ「全労連権利手帳」とあわせて配布し、加入を働きかけます。

③ 機関紙コンクール 3月1日（火）～6月30日（木）

各地方組織、単組・支部・分会は、機関紙発行のつど本部に2部郵送します。

3. 「署名」などの取り組み

全労連・春闘共闘が提起する次の4つの課題での署名に、組合員1人5筆を目標に取り組みます。

- 唯一の戦争被爆国 日本政府に核兵器禁止条約の署名・批准を求める署名
- 憲法改悪を許さない全国署名
- 若者も高齢者も安心できる年金と雇用を（年金署名）
- 非正規差別と長時間労働の解消を求める請願署名（労働法制署名）

4. 諸会議・集会の日程

① 22春闘地方組織代表者会議

日時 4月16日（土） 9：00～17：00

場所 東京都内またはオンライン

② 金融労連2022年全国学習交流集会、原水爆禁止2022年世界大会など、開催の可否を含め詳細が決まり次第お知らせします。